



新世紀・未来に語り継げる政策を!

26才の時、市政の情報公開を訴え、初めて市議会に送っていただいて以来7年が経過しようとしています。

この間、市長に対して透明性の高い情報公開条例の制定を求めるとともに、自らが出来る範囲での議会情報の公開や情報公開を求めている議員の責任として自らの議会活動の報

告を定例会朝の駅頭にて行って参りました。お陰様でこの4月より、市民の知る権利や行政の説明責任を明記したより透明性の高い情報公開条例が施行されました。また定例会朝の駅頭報告も7年近くが経過し、総回数も500回を超えました。

酒井大史が政治を志した原点は、生まれ育ったまち立川を「人々が安心して暮らし、誇りを持てるようなまち」にする事です。もちろん、その実現には将来の納税者である子供たちにも説明が出来る政策であることが前提です。

情報公開条例が制定された今、子供たちにも説明が出来る行政運営を行っていくため、まず取り組まなければならない課題は市民に行政情報をしっかり公開した上で、市民が行政に対して意見を述べやすい環境を整備し、その意見を積極的に取り入れていくシステムを作り上げていくことだと思います。

活動のフィールドが変わっても、酒井大史は、しっかりと意見を聞き、しっかりと考え、しっかりと発言し続けて参ります。

駅頭報告
500回突破!



インターネットにて
情報発信中!!

議会日程など最新情報や紙面に掲載しきれない情報は、ホームページ版「Wecan!」をご覧ください。

<http://plaza7.mbn.or.jp/~Wecan/>

立川市議会議員・文教委員長

酒井大史 (33才)

大学院を修了しました！

この2年間、母校である中央大学大学院において、社会人大学院生として研究をしてきましたが、この3月25日、無事法学研究科博士前期課程を修了しました。修士論文のテーマは「地方自治体における電子取引活用基盤の法的研究～公共調達の電子化への課題～」です。この研究の成果をこれからの活動に積極的に活用していきたいと考えています。

定例会議開会中

今年は6月に都議会議員選挙が行われるため、通常よりも早く5月16日頃から次の定例会議が始まる予定です。この議会報告がお手元に届く頃には開会中であると思います。ご都合がございましたら、是非傍聴にいらして下さい。詳しい日程については決定次第、ホームページに掲載します。

なお議会事務局議事係の連絡先は
523-2111（内線285）です。

ご報告！

この度、6月24日に行われる都議会議員選挙において、酒井大史は民主党より公認候補として決定されるとともに、東京生活者ネットワークより推薦をいただきました。任期途中にて新たな活動の場を求めることとなりますが是非ともご理解いただき、今後とも酒井大史の活動をお支え下さいますようお願いいたします。

なお、6月以降の市政への取り組み・ご相談は、会派の仲間を通じて行って参りますので、よろしく願います。

（酒井大史の仲間たち） 順不同

無所属：梅田尚裕・太田光久・守重夏樹
民主党：田中清勝
生活者ネットワーク：坂下かすみ

酒井大史を支えて下さる 皆さまへのお願い

1. 立川市にお住まいのお友達の方をご紹介下さい！
2. 空いた時間やお休みの日にピラ配りなどをボランティアでお手伝いして下さる方を待っています！
3. 未使用の切手や文具類などを寄付していただけますと助かります！
4. お友達とのサークルやお茶飲み会に、酒井大史を呼んで下さい！
5. 酒井大史後援会の会員募集！

● 後援会入会のお願い ●

酒井大史とともに市民参加の政治を築くため、あなたのお力を貸して下さい。また、あなたのご意見もお寄せ下さい。

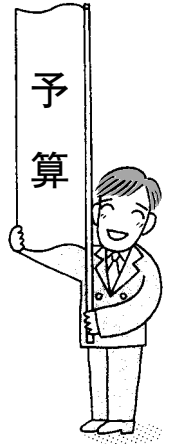
- ・会費 1口 500円/年
- ・その他 カンパなどして頂ければ助かります。
- ・振込先 ① 名称「酒井大史後援会」
② 多摩中央信用金庫 本店
(普) 5106462
郵便振替「00160-5-729481」

お問い合わせ先 ☎ 042-528-6522

● Profile ●

昭和43年5月8日生まれの33歳。独身。O型。
立川市立第2小・中学校卒。都立武蔵村山東高校卒。
中央大学法学部を普通の成績で卒業し、伊藤忠建機(株)入社、本社管理部に配属。平成6年3月市議選出馬のため退社。
平成6年6月19日立川市議会史上最年少(26歳1ヵ月と11日)にて当選。現在、2期目。
平成13年3月中央大学大学院法学研究科博士前期課程修了。
行政書士。
文教委員会委員長。前厚生委員会委員長。
元予算・決算特別委員会副委員長。
民主党東京都連IT推進局長代理。
東京都行政書士会立川支部相談役。
立川市柔道連盟顧問。
東京都立川倫理法人会顧問。
東京リニューアル会員。
先端政策研究会副会長。
北多摩西(立川)BBS会員。
趣味は、テニス、野球、スキー、茶道、MAC。
身長：175cm 体重：80kgぐらい

毎回質問を続けている 酒井大史



平成13年度予算において、酒井大史が以前から提案・指摘していた事項が数多く予算化されました。その一部をご紹介します。

1. 天然ガス車の導入(都市における大気保全と地球温暖化を防止するため、温室効果ガス等排出の低い天然ガス車を導入。)↑平成9年12月一般質問「地球温暖化対策として、ハイブリットカーの導入等を提案」

2. 中学校教育用コンピュータの整備(高度情報化社会に対応したコンピュータ教育の充実)↑平成8年9月決算特別委員会「小中学校におけるPCの導入と活用状況について質問」

3. 図書館情報総合管理システムの更新(インターネットを利用した在宅検索システムを構築)↑平成10年5月一般質問「中央図書館とのインターネット接続による蔵書検索を要望」

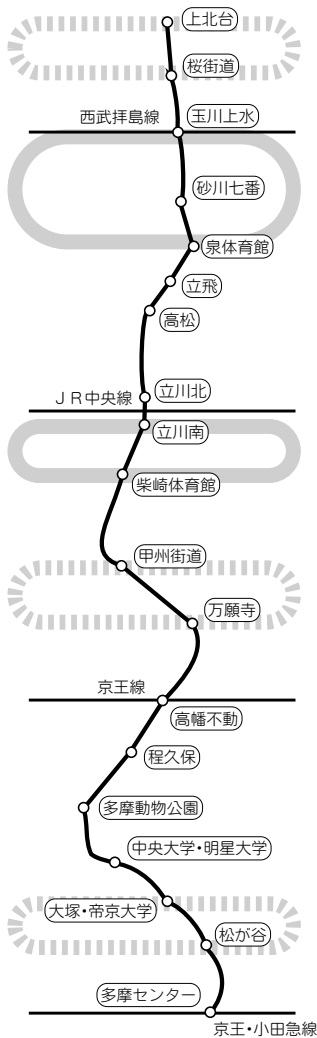
4. 地域情報化の推進(情報化の推進による行政手続きのオンライン化、情報の積極的な提供等によるネットワーク化により住民の利便性を図るとともに、事務の効率化を図る。)↑平成10年5月一般質問「SOHOをはじめとする情報都市化を提案」

5. 「立川市財政白書」作成(財政収支の見通し、各種財政指標の類似団体との比較、職員数の配置状況、貸借対象表、行政コストの状況などについて分析し、課題を明らかにする。)↑平成9年9月一般質問「ある意味で市にとっての株主・出資者である市民に対し財政状況を分かりやすい形で公表すべきと指摘」

6. バランスシートの作成(平成12年度から継続。コスト意識の高揚を図るとともに、コストの適正化に向けた基礎資料として。)↑平成9年9月一般質問「公会計制度の不備を補うため、企業会計方式の導入を提案」

7. 総合窓口の開設に向けての検討(市民に分かりやすく効率的な窓口のあり方について検討する。)↑平成10年5月一般質問「住民票の自動交付機設置やパソコンを使った在宅申請とあわせて、総合窓口化の検討を要望」

ワン・コイン交通ネットイメージ図

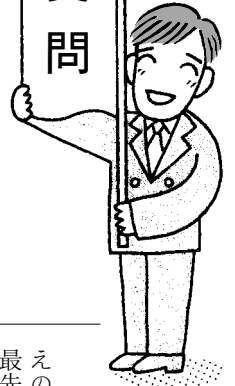


多摩地域においては、多摩都市モノレールが立川駅を中心に北は上北台(東大和市)から南は多摩センター(多摩市)まで開業し、南北の交通網が整備され市民の利便性が向上しました。しかし、不採算路線を抱えるバス会社とモノレールがともに乗客数を確保することができ、そして地域住民にとっても交通の便が良くなるような施策を展開していく必要があると考えます。

そこで提案です。モノレールの各駅をいくつかのブロックに分け、その駅を中心に東西に楕円形を描く形で、地域バス会社によるコミュニティバス路線を整備してはどうでしょうか。料金は極力安く、出来ればワンコイン(百円)で実現できれば、双方の利用者も増えるのではないのでしょうか?この点については是非とも東京都が主導して、近隣市やバス会社等と協議していく必要があると考えます。酒井大史は是非とも取り組むべき課題と考えますが、皆様のご意見等をお聞かせいただければと思います。

市議会定例会での発言の一部をご紹介します！

一般質問



1 平成13年度予算編成方針について

〔平成12年12月定例会〕

酒井 実施計画に基づくこと、約31億円の財源不足が生じるが、対処の見通しと、見通しが立たない場合の実施計画の変更は想定しているのか。

企画部長 職員給与の見直しや定数適正化に努めるとともに受益者負担の適正化なども講じていく。財源確保が困難な場合は、事業の先送りも視野に入れ、調整を図っていく。

酒井 初めて概算要求制度を導入した意義と効果は。

助役 十分な調査と議論を積み重ね、施策の選択、展開を図っていくことを目的に導入し、より精度の高い予算編成資料や情報の共有化など、一定の効果があったと考える。

酒井 モノレールの全線開業に伴う経済効果は予算にどの程度反映されているのか。

市長 沿線の来街者は3割強増えており、一定の経済効果が期待できる状況である。

酒井 実際に数字としてどの程度見込みがあるのかお示し頂きたい。

市民部長 固定資産税の家屋については2億円程度の増収。法人市民税に関しては、企業業績によって大幅に変動するので、答弁はご容赦させて頂きたい。

酒井 市債の発行について、繰上償還や借りかえ等も考えているのか。

企画部長 繰上償還等ができるように制度の見直しを関係機関に申し入れている。

酒井 市職員に社会人経験者を募集するに当たって、どのような効果を期待しているのか。

市長 幅広い人材を確保していくという考えの下、民間企業等で培った職業意識や業務経験、最先端の知識を市政に活かすと共に、職員の意識改革を図っていくつもり。

酒井 予算編成作業の中で職員の方々にトータルコストの考え方について見解を示されているのか。
助役 トータルコストを視野に入れた行財政運営を図っていききたい。

2 公共調達（入札）の電子化を視野に入れた入札制度の透明性向上について

〔平成12年12月定例会〕

酒井 入札制度について、市のホームページの中で入札予定や入札業者、入札・落札金額、工事の具体的な内容を公表し、より透明性の高い入札制度を確立していくべきと考えるが、市の見解は。

総務部長 入札情報の告示文については、ホームページの活用化に向け、現在検討している。

3 立川市としての犯罪被害者サポートへの取り組みについて

〔平成13年3月定例会〕

酒井 市民相談室における法律相談について、犯罪被害者の相談も行うとの案内を広報に掲載していただいたが、実際はどのような対応をしているのか。また市民便利帳やホームページ等で案内していくことは考えられないか。

企画部長 プライバシー厳守だとして広報に掲載したが、この記事を見たとしての犯罪被害者の相談はまだまだない。今後も年2、3回は広報していく。市民便利手帳にも今後の編集の中で掲載の検討をしていく。

酒井 犯罪被害に遭われてしまった時のホームページ、保育園の緊急入園等の対応は。
文化児童部長 保育園の緊急保護的な入園は緊急

一時保育として対応している。
福祉保健部長 現行のホームページ制度の派遣要件に該当しないので、犯罪被害者支援ネットワークの中で対応していきたい。

酒井 行政手続きの軽減について、保育園は文化児童部、ホームヘルパーは福祉部、死亡届等は市民部ということではなく、被害者の精神的負担を考え、一人の担当職員がコーディネートし、それに対してそれぞれの部署が連携できるシステムづくりをしていただきたい。

助役 ありがたい話しにならないよう、市民相談の所でコーディネートし、機動力が発揮できるような対応を図ってまいりたい。

酒井 支援金の支給について、共済保険制度的なものを市長会で提案していただきたい。

市長 ご提案として私も大変理解するが、市長会として、提案というより一つの話題として取り上げたい。

4 市民参加システムの構築について

〔平成13年3月定例会〕

酒井 市民参加システムについて、具体的にどのような施策を考えているのか。

市長 13年度に市民を含む懇談会を設置し取り組んでいくが、ITを含むさまざまな媒体による意見収集の問題は大きな課題と認識している。

酒井 ホームページを使って、パブリックコメント制度の導入を検討すべきではないか。

企画部長 市民参加推進基本指針の中で市民の意見提案の場や、機会の確保を推進することとしており、パブリックコメントについても検討していきたい。

